

市川Specialバドミントン大会 <大会規程>

— 総合Champion City を目指して —

H.27.1.17改定

1 開催目的

- (1) 各郡市区代表選手及び候補選手のレベル向上を図る。
- (2) 代表選手及び候補選手の各郡市区協会（連盟）所属の意識と、居住する郡市区を愛する気持ちを高揚させる。

2 日程場所

2月11日建国記念の日、市川市塩浜市民体育館を恒例とする。

3 参加市区

県内の郡市、都内の市区、他県の郡市

- 市川市、千葉市、船橋市、松戸市、浦安市、市原市、習志野市、鎌ヶ谷市、八千代市、野田市、柏市、印旛郡市、流山市、山武郡市
- 江戸川区、葛飾区、台東区、江東区
- 新規呼び掛け：未定

4 参加権

次大会の参加は、今大会参加市区に優先権がある。

*欠場の場合は、リーグダウン又は次大会の参加優先権が消失する

*複数チームの出場：市川市バドミントン協会の判断で複数チーム（Bチーム、Cチーム）の参加を認める

5 チーム構成人員

男4名+女4名=計8名以上。

同一カードで2種目に重複出場することは不可とする。

6 選手の条件

次の1) 2) のいずれかに該当する選手で構成し、3) を満たすこと。

- 1) 大会当日その郡市区に住民登録のある者とする。
- 2) 出身小学校または中学校の所在地がその郡市区にあること。（ふるさと資格）ただし男女に関わらず2名までとする。
- 3) 小学生～大学院生については、男女に関わらず2名までとする。（学生枠）ただし小学6年以上とし、各郡市の将来の代表となることが期待される者で、小中学生についてはトップリーグでは都県を代表して全国大会参加レベル、セカンドリーグでは都県大会においてベスト4以上程度を目安とする。

注) 定時制高校、通信制高校、専修学校、各種学校の生徒は一般社会人とみなし、学生枠外とする。

7 試合形式

- (1) MD, LD, MS, LS, Mixの5種目による団体戦
- (2) トップリーグ（9チーム）……前回大会の成績による上位9チーム
 - 予選は、3チームずつ3ブロックに分けリーグ戦。5組完遂。
 - 決勝は、各ブロック1位の3チームと、各ブロック2位の3チームの中で順位決定基準に照合して最上位チームの合計4チームによるトーナメント戦。3組先勝。
 - 残留（降格）決定戦は、各ブロック3位の3チームの中で、順位決定基準に照合して下位2チームによって行う。ただし市川Aチームは除外する。3組先勝。
- (3) セカンドリーグ（4～9チーム）……トップリーグ以外のチーム+新規チーム（例、6チームの場合）
 - 予選は、3チームずつ2ブロックに分けリーグ戦。5組完遂。
 - 決勝は、各ブロック1位2位の計4チームによるトーナメント戦。3組先勝。

*トップリーグの最下位チームとセカンドリーグの優勝チームは次回大会において入れ替わるものとする

8 参加費 該当年度の要項に明示

9 表彰 各部の優勝チームに賞状賞品を授与する

10 審判 参加選手で行い、当事者審判とする

11 服装 常識の範囲。背面、ゼッケンは不要。（他市区等の背面ゼッケンは禁止）

12 運営要員 市川市バドミントン協会役員、市川市参加選手